

能登大納言小豆の安定生産に向けた支援をしています

奥能登農林総合事務所

能登大納言小豆は、珠洲市を中心に奥能登地域で栽培され、全国に数ある大納言小豆の中でも、粒の大きさと宝石のような鮮やかな赤い色が特徴の小豆です。

実需者からも高い評価を得ていますが、気象の影響等により作柄が安定せず、需要に応える生産量を確保することが最大の課題となっています。

奥能登農林総合事務所では、平成26年度からこれまで関係機関等と連携し、早播き安定生産技術の実証や大規模栽培に向けた機械化体系の現地導入支援を行うなど、生産量の安定確保に取り組んできました。

しかし、JAに部会がなく、部会主導による活動やきめ細かな指導を行うことができなかったため、当事務所では部会設立に向けて生産者やJA等関係機関とともに、部会役員の構成や活動計画について検討を重ね原案を作成し、設立準備会を開催する等支援を行いました。

こうした中、これまで念願であった部会設立の機運が高まり、令和元年6月17日に、全生産者が加入する「JAすずし能登大納言小豆部会」が設立されました。

部会の活動計画として、栽培講習会や現地ほ場での研修会、反省会の開催などを通じて、部会では収量の安定確保に向け、栽培技術の向上を進めていくことで合意しました。

設立総会後の栽培講習会では収量の安定を図るため、初期生育の確保に重点を置いた基本技術の徹底について当事務所職員が説明を行いました。

当事務所では、今後も現地ほ場での研修会や栽培情報の提供など、関係機関とともに部会活動を支援し、能登大納言小豆の安定生産を図っていきたいと考えています。



(能登大納言小豆)



(当事務所普及指導員による栽培講習会)

問い合わせ先：奥能登農林総合事務所農業振興部
(0768-26-2323)